

第68回宮崎県個人情報保護審議会議事録

1 日 時	令和8年7月23日（木）午後3時から午後4時10分まで
2 場 所	県庁防災庁舎7階 防73会議室
3 出席者	山田会長、今枝委員、小幡委員、宮本委員、森部委員
4 議 題	(1) 審議事項 県税の賦課徴収等の事務に係る特定個人情報保護評価書（案）について (2) 報告事項 令和7年度個人情報保護制度の運用状況について
5 内 容	(1) 審議事項 県税の賦課徴収等の事務に係る特定個人情報保護評価書（案）について 事務局より制度概要の説明を行った後、実施機関より、パブリックコメント（5月1日～6月1日）の結果報告及び特定個人情報保護評価書（案）の内容説明を行った。 (主な質疑・意見) 委 員：資料にある再委託先は具体的にどこか。県は事前に再委託のことを承知しているという理解でいいか。 実施機関：NTTデータの子会社である。再委託について、開発着手時に委託先から申請を受け承認済み。 委 員：再委託先は1社か。 実施機関：1社である。 委 員：27ページの最後の「従業者に対する教育啓発」のところで、不適切な対応をした職員への「個別追加研修」とあるが、具体的にどのような内容か。 実施機関：近年該当者がいないため具体例はないが、不適切であった内容に応じて、改善状況を所属長通じて確認を行う流れを想定している。 委 員：該当者がいた場合に備えた「こういう場合はこういう研修を行う」といったマニュアル的なものは準備しているか。 実施機関：マニュアルについては現時点で未整備であり、今後準備が必要と認識している。 委 員：サイバー攻撃対策としてLGWAN-ASPが最も安全という認識か。また、データバックアップ機能はどうなっているか。 実施機関：LGWAN-ASP内にファイアウォール等が含まれており、外部攻撃からの防御策となっている。データセンターは遠隔の2拠点に配置し、常に同期しているため、片方が被災・攻撃を受けても稼働する体制である。 委 員：クラウドサービスは価格が高騰しており県の支出負担が懸念されるが、どう考えているか。 実施機関：県の方針として、各部署で個別サーバーを持つよりも、安全性やデータ保全の観点から、高額ではあるが、クラウドでのシステム構築を推奨されている状況。 委 員：閉鎖網であるLGWANから民間のNTTデータのクラウドへの接続をどう許可しているのか。

	実施機関：VPN等の技術を利用し、条件によって通信を制限して接続している。詳細な出口の設計等については把握していない。 委員：急激に発展しているこの世界中のリスクを踏まえて、セキュリティ面だったり、金額面だったり、きちんとこれをフォローしていけるのかが懸念があるということ。十分注意していただきたい。 実施機関：十分注意して対応したい。 委員：評価書の自己点検項目がすべて「十分に行っている」となっているが、宮崎県として「特に力を入れて行っている」と言える箇所があれば紹介していただきたい。 実施機関：標準的かつ十分な対策を講じているという意味で「十分」を選択している。他県の評価書を参考に作成したため、横並びの表記になっている面もある。 実施機関の退室後、意見書（案）の検討を行い、当該評価書に記載されたリスク対策を確実に実施すること、職員に対する指導・監督を徹底すること、委員から指摘のあったマニュアル等の整備について付言した意見書を発出することです承された。 (2) 報告事項：令和7年度個人情報保護制度の運用状況について 事務局より、令和7年度の個人情報保護制度運用状況について説明を行った。 (主な質疑・意見) 委員：警察本部宛の請求が88件と多いが、これは例年の傾向か。 実施機関：例年、警察への請求が最も多い。主にDV相談等の「安全相談処理票」に関する本人からの開示請求である。 委員：教育委員会の「採用試験の答案」に関する開示請求とは何か。 実施機関：口頭による簡易開示では対応できない「答案自体」の開示を求める請求があったもの。
--	---